

第43回 学校評議員会 会議録

令和2年2月3日（月） 10:00～11:30

弘前高等学校 応接室

出席者 評議員 4名…赤石 茂 氏、木村 直美 氏、川村 能人 氏、前田 一隆 氏

学校側 校長、教頭（司会）、事務長、教務主任、生徒指導主任
進路指導主任、教務部員（記録）

欠席者 中根 明夫 氏

1 校長挨拶

校長 : 学校も年度末が近付き、1・2学年は第4回定期テスト、3学年は最後のセンター試験を終え、二次試験に向け取り組んでいる。全体としてセンター試験の平均点が下がったようであるが、第一志望を貫く生徒が多いようである。

文化活動においては、放送局、美術部、囲碁部が全国高総文に出場した。また、新潟同窓会に出席した際には、文芸部の俳句甲子園優勝をととても喜んでいた。生徒たちは文化面、運動面どちらでも力を発揮している。

今後ともぜひよろしくお願いしたい。また、今日は学校関係者評価について忌憚のない御意見を頂きたい。

2 現状報告

教務主任 : 弘前高校説明会について、今年度も滞りなく実施することができた。参加保護者の増加が見られた。アンケート結果を振り返ると、放送局制作のビデオや自治会を中心としたパネルディスカッション「充実した高校生活を送るために」が好評であった。また、機材トラブルの際の生徒の対応が素晴らしいというコメントを頂いた。保護者からは、生徒の「生の声」が聴けてよかったという声が多かった。

11月の中高連携協議会について、高校での授業の様子、送り出した生徒の様子、教科及び全体の情報交換を行った。参加者は少なかったが、中学校の先生方と中身の濃い話ができ、学年主任の先生方の話には特に熱心に耳を傾けていた。また、中学校側から、「スマートフォンの使用について、中学校でも問題が起こっているが、高校ではどうか」や「生徒の状況について」などの質問が出された。

授業アンケートでは、結果を見ると、国語・保健の授業において昨年度から大きく改善した。特に、保健の授業では、プロジェクター等を有効に用いることで、生徒にも好評であるようだ。

保護者アンケート結果は、おおむね良好であるように思う。もっと生徒の悩みを聞いてほしいという意見が寄せられたほか、家庭との連携を求める声もあった。授業公開について数字が低くなっている点は、今年度はアンケート実施後に公開授業を行ったことが一因と考える。保護者から寄せられたコメントについては、例年「課題が多すぎる」という意見があるが、今年度はあまり見られなかった。改善すべき点としては、教員から生徒への言葉がけの部分である。生徒一人一人を尊重した言葉がけを実施したい。また、進路に対する意見に対しては、具体的な数字を示しながら、理解してもらうように努めていきたい。

職員による自己評価は、前年より低くなっているものの、気になる項目はあまりないように思う。

生徒指導主任：資料にある活動を実施した。今年度は、挨拶の励行を重点事項としていた。本校生徒は、遅刻は少ないが挨拶に元気がない。挨拶はするが、元気にさせるための指導が難しい。部活動での指導という考えもあるかもしれないが、部活動加入率も下がってきている。根気強く対応していきたい。

いじめ防止対策について、今年度の認知件数は1件あったが、重大事案になる前に対応し、おさまっている。昨年度の認知件数は0件であった。この0件が良く、今年が良くないということではなく、早く対応することが大事で、今年その対応ができたことは良かったのではないと思う。

今年度は自転車の事故が多く、自転車事故による骨折が2件、転んで歯を折るというものもあった。生徒たちにも気をつけさせたい。

今年度の部活動の結果は表にある通りで、運動部ではテニス部が全国大会に出場した。文化部は全国大会進出が多かった。新人戦でも、東北大会に進出している部活もある。

進路指導主任：進路志望調査を見ると、進学希望がほとんどを占めている。授業第一を掲げ、先生方の授業力・作題力の向上に取り組み、生徒の志望達成へ向けて取り組んでいる。ただし、勉強だけでできればいいというふうには考えていない。人間力を高める指導も大切にしている。1学年の志望動向をみると、例年通り難関大学の志望が多い。2学年は、志望が落ち着いてきた。難関大学や弘前大学医学部医学科を志望する生徒が多い。保護者アンケートにおいて頂いた御指摘に関して、どこかの大学に偏っているということはなく、様々な情報を提供しており、その中で生徒の多くが難関大学を志望し、全国の大学を見て、進学しているという状況である。

学習状況調査を実施し、結果を分析した。おおむね例年通りの結果である。

数学・英語を得意とする生徒が多かったが、苦しんでいる生徒も多い。校内でデータを共有し、生徒理解に努めている。

最後に、今年度の3学年の現状として、推薦・AO入試等結果は68名出願し、合格は18名。昨年度は58名出願し、17名合格。また、68名のうち28名はこれから発表される。

3 校内一巡

学校側参加者と共に校内を一巡し、3時間目の授業を参観した。

4 学校関係者評価について 及び 意見交換・質疑応答

教頭 : (5)、(6) は今年度の4月に提示したものである。(5)、(6) に対して、授業アンケート、保護者アンケート、職員による自己評価に基づいて、(7) の達成状況、(8) の達成度を評価した。この会議を踏まえて、(9)、(10) を入力していきたいと考えている。幅広く、忌憚のない御意見を頂きたいと考えている。まずは、各項目に対する、評価をお話したい。

「確かな学力の育成」の項目については、研究授業、互見授業を実施した。また、各研修に先生方が参加し授業改善に取り組んでいることから80%以上実施できたということで評価をAとした。

「豊かな人間性と社会性の育成」の項目については、「規律ある自由」を基盤とし、ホームルーム担任による面談、弘高ねぶたを通じて自己存在感、自己有用感を実感しながら共感的人間関係が育まれていることからこちらも評価はAとした。

「キャリア教育の推進」の項目については、総合的な学習（探究）の時間における課題探究や学部学科研究、職業人講話等を通じて自己の在り方生き方を考えることができていると判断するが、より一層力を注ぐ余地があるため、評価をBとした。Bは達成度60%以上ということである。

「重点校としての任務の遂行」の項目については、医学部医学科や難関大学進学に向けた学習活動を企画・運営し、近隣校の生徒や教員に対しても提供し、一定の成果が見られていると判断し、評価はAとした。

評議員赤石氏：教務部の話の中に生徒の状況についての話があったが、1つのことに集中する力は高いものがある。物事に取り組む姿勢を大事にしていけば伸びていくのではないかと。また、弘高生は能力が高く、物事に秀でているところもあると思うが、対応に苦慮することもあるのではないかと。先生方には頑張ってもらいたい。進学に関して、私も親としては見守ることしかできなか

った。推薦入試で不合格だった生徒に対して、気持ちの面でのカバーをして
いただきたい。

評議員木村氏：豊かな人間性と社会性について、雪不足や新型コロナウイルスなど世の
中の不安要素が多くなっている。その中で、正しく怖がる必要があるのでは
ないかと思う。裏付けのある知識が必要である。どこの店にもマスク・ア
ルコール消毒がない。SNS の時代で情報にあおられやすい。ただ怖がるので
はなく、科学的に物事を見る目を養ってもらいたい。

評議員川村氏：状況もだいぶ変わってきて、高校生も打たれ弱くなってきている。ハラス
メントの問題があり、言葉 1 つでも誤解・奇解があったり、言葉の裏をとら
れたりということがある。先生方もハラスメントについて協議等している
と思うが、線引きが難しい。言葉の暴力や集団の雰囲気というものもある。一
人でいれば楽だがそうもいかない。人間関係における慎重な付き合い方、社
会性を身につけさせて欲しい。

先ほど授業を参観させて頂いたが、現在の大学入試の問題を見ると難しい。
理論から入り、実験等をしなくても理解できるものなのか。

進路指導主任：3 年生の理系を対象に、半日時間をとって理科実験を行っている。それで
全てまかなえるわけではないが、理解の一助になっているようである。

評議員前田氏：弘前高校説明会アンケートを見ると、中学生にとっては映像が良いとある
が、編集も放送局が行っているのか。

教務主任：放送局の生徒が行っています。

評議員前田氏：実際に見てみたい。保護者の意見を見ると、生徒の生の声が良かったとい
うのが興味深い。保護者アンケートのコメントを見ると、辛辣なものも見ら
れるが、全体のパーセンテージを見ると、最後の「弘高に入れてよかったか」
の項目において「そうは思わない」の意見がごくわずかなので大丈夫かなと
思う。コメントにあるような具体的なものと、こういう言葉が本当に
あったのかと考えるが、保護者はこう言っているが、生徒はどう捉えている
のかが重要なのではないかと思う。

生徒指導主任：体罰アンケートを実施したが、その中では特に何も出てきていない。

評議員前田氏：それであれば安心だ。最後に、様々な事情があり難しいと思うが、個人ロッカーに設置を望む声も多いようなので、できるならば設置をお願いしたい。

教頭：最後に何かあればお願いしたい。

評議員赤石氏：自分も生徒だったが、先生からの体罰はなかった。部活内での先輩・後輩の厳しさはあった。そこが部活動のよい面でもあるのではないかと思う。

評議員木村氏：弘前オペラをやっているが、吹奏楽部の生徒が出演してくれた。出番のないときは勉強するという切り替えの速さが素晴らしいと思う。また、生徒のコミュニケーション能力にも驚かされた。挨拶の励行という話もあったが、日々の信頼関係があれば自然と出てくるものだと思うので、先ほど話があったように、根気強く続けていって欲しい。

校長：本日は生徒の様子を見ていただき、また、貴重な意見をいただきありがとうございました。